



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ nonoyama@kitanet.ne.jp

No.397 2016.7.13

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に 090-2156-3510

日本共産党 6議席獲得

(比例代表3→5議席・選挙区0→1議席)

東京
選挙区

山添拓候補が激戦制し初当選



志位委員長(左)の応援を受けて街頭で訴える山添候補(右) = 7月7日、赤羽駅東口

日本共産党の当選者



山添拓
(東京)



市田 忠義
(比例)



田村 智子
(比例)



大門みきし
(比例)



いわぶち友
(比例)



たけだ良介
(比例)

2016年参議院選挙 北区の開票結果(比例代表)

政党名	今回(2016年)		前回(2013年)		備考
	得票数	得票率	得票数	得票率	
日本共産党	27,922	16.95%	26,324	17.11%	
自由民主党	52,571	31.91%	44,234	28.75%	
民進党	27,062	16.42%	13,359	8.68%	※民主党
公明党	23,700	14.38%	24,491	15.92%	
おおさか維新の会	10,947	6.64%	16,534	10.75%	※日本維新の会
生活の党	6,917	4.20%	3,719	2.42%	
社会民主党	4,995	3.03%	3,020	1.96%	
新党改革	3,037	1.84%	21,793	14.17%	※みんなの党 ※緑の党 ※みどりの風 ※新党大地
日本のこころ	2,511	1.52%			
国民怒りの声	2,271	1.38%			
支持政党なし	2,242	1.36%			
幸福実現党	588	0.36%	363	0.24%	
合計	164,762	100%	153,837	100%	

※得票数は小数点を四捨五入した数字です。

11日投開票の参議院選挙で、日本共産党は比例5議席と選挙区1議席の計6議席を獲得、改選3議席から倍増の躍進を果たしました。比例代表で東京を拠点にしてたたかかった田村智子党副委員長は2期目の当選を果たし、東京選挙区では31歳の

北区では比例第2党に

山添拓弁護士が激戦をかちぬいて初当選しました。北区では比例で民進、公明を抜き、自民に次いで第2党となりました。また、日本共産党の得票率としては比例(16.95%)、選挙区(14.04%)ともに23区の中で1位でした。

候補者氏名	党派名	得票数	得票率
当 山添 拓	日本共産党	23,040	14.04%
当 蓮舫	民進党	26,602	16.21%
当 竹谷 とし子	公明党	26,122	15.92%
当 中川 まさはる	自由民主党	22,672	13.82%
当 朝日 けんたろう	自由民主党	14,638	8.92%
田中 康夫	おおさか維新	11,676	7.12%
当 小川 敏夫	民進党	10,376	6.32%
よこくめ 勝仁	無所属	7,857	4.79%
三宅 洋平	無所属	4,827	2.94%
鈴木 まりこ	日本のこころ	2,980	1.82%
増山 れな	社会民主党	2,439	1.49%
小林 こうき	国民怒りの声	2,056	1.25%
たかぎ さや	新党改革	1,795	1.09%
佐藤 かおり	無所属	1,680	1.02%
鈴木 信行	維新政党・新風	1,270	0.77%
浜田 かずゆき	無所属	750	0.46%

候補者氏名	党派名	得票数	得票率
トクマ	幸福実現党	524	0.32%
ひめじ けんじ	地球平和党	333	0.20%
柳沢 秀敏	無所属	322	0.20%
鈴木 たつお	無所属	311	0.19%
よこぼり 喜久	無所属	234	0.14%
佐藤 ひとし	支持政党なし	215	0.13%
川上 晃司	無所属	202	0.12%
犬丸 勝子	犬丸勝子と共和党	197	0.12%
おおつき 文彦	支持政党なし	181	0.11%
マタヨシ 光雄	世界経済共同体党	160	0.10%
原田 きみあき	無所属	148	0.09%
いわさか ゆきお	無所属	142	0.09%
深江 孝	支持政党なし	121	0.07%
さめじま 良司	支持政党なし	120	0.07%
ふじしろ 洋行	チャレンジド日本	84	0.05%
合計		164,073	100%

商店街を丸ごと立ち退かせる補助85号線拡幅計画

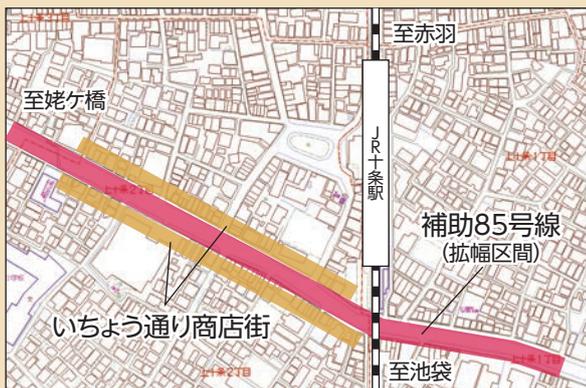
住民に相談なく北区が都に進言

十条まちづくり特別委のこの山区議が追及

13日の十条まちづくり特別委員会でのこの山げん区議は東京都が進めている都市計画道路補助85号線の拡幅計画をとりあげ、区の姿勢を質しました。

昨年2月、都が埼京線を高架にする十条駅立体交差化事業素案を示したことから、線路を陸橋でまたぐ構造であった85号線を平面交差に戻す計画変更の必要性が出てきました。平面交差になれば現道の幅員18mで何ら支障はないのに、都は今年2月、85号線の両脇を6mずつ広げ、幅員30mに拡幅する素案を示してきました。これによって、現道に沿って立ち並ぶいちよう通り商店街は軒並み立ち退きを迫られ、商店街は壊滅することになります。

誰が道路の拡幅方針を提



起したのかという、この山区議の質問に、区の担当者は「都との調整の中で区が要望として示した」と答弁。また、この山区議が「商店街をつぶしてしまうことになる計画を決めるのに、当事者である商店街や地元住民の意向は聞かなかったのか」と問いただすと、区は「関係者には、一切聞かなかった」となどと答弁しました。